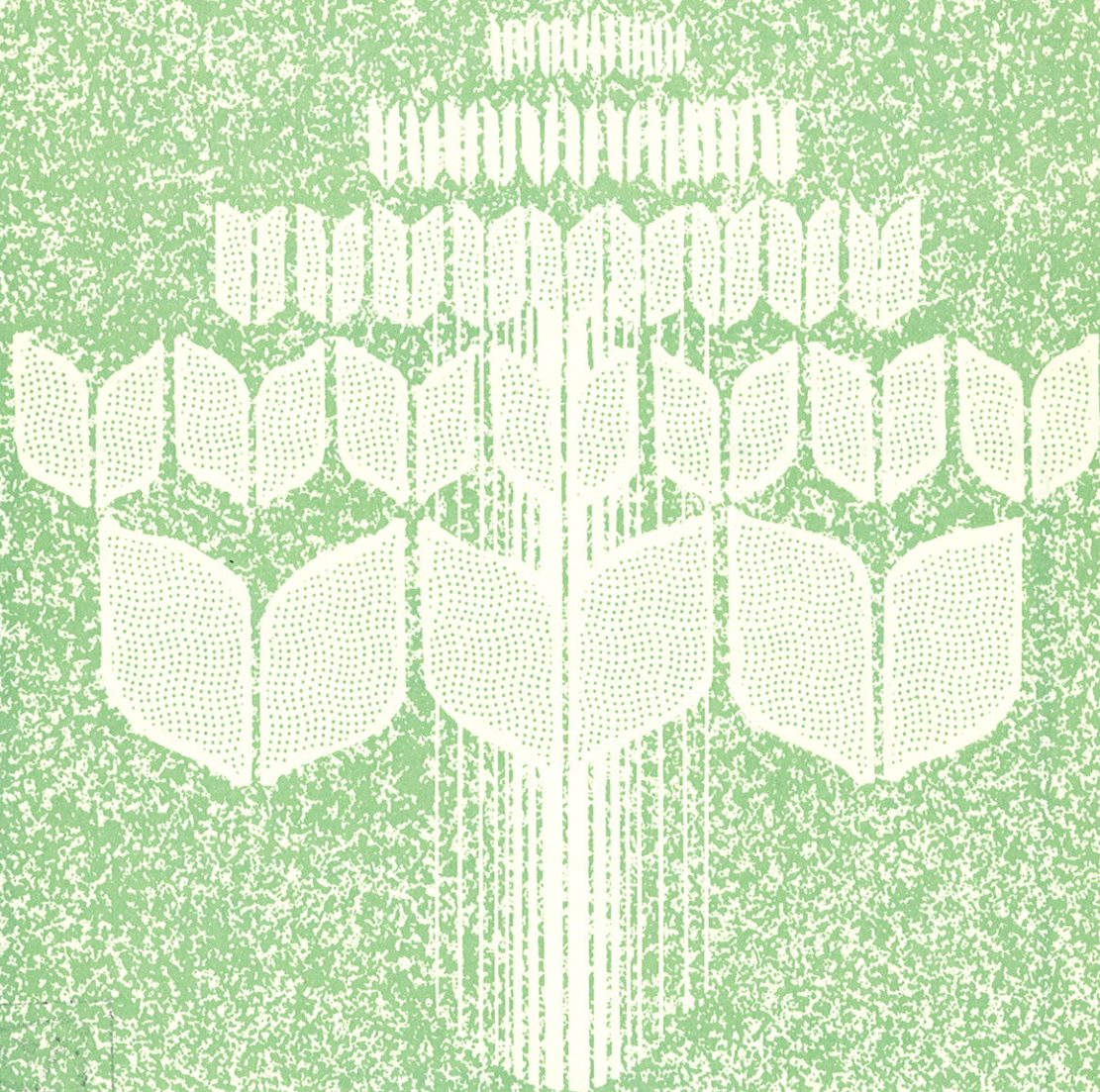
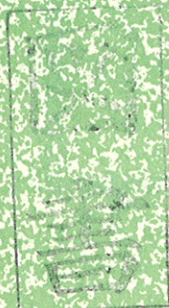


植調

第3卷第10号



財団法人 日本植物調節剤研究協会編



出ました!!水苗代に絶好の除草剤

アタックウィード乳剤 (試験名) HE-314

高い除草効果——ノビエの1～2葉期(播種後10～16日)に湛水のまま散布しノビエを始め1年生雑草に高い殺草力を発揮し、その後の雑草の発生も抑えます

稲に安全——稲には選択的に安全性を有し、また有機燐剤やカーバメート系殺虫剤との近接散布でも安全です。

使用が簡便——湛水状態のまま落水することなく散布できます。また散布前後の降雨にほとんどかわりなく使用できます。

低毒性——人畜、魚貝類には低毒性で安心です。

アタックウィード乳剤は 稚苗田植機栽培 にも最適です。
湛水直播栽培

総発売元 **三洋貿易株式会社**
〒101 東京都千代田区神田錦町2の11

マツバイ・ノビエに

パ・ロツク粒剤

——PCP・MCPE混合剤——

●ノビエ防除に卓効なPCPとマツバイやその他の広葉雑草に効果の著しいMCPEを配合、両剤の相乗効果により除草効果をさらに高めた秀れた除草剤です。

呉羽化学工業株式会社

東京都中央区日本橋堀留町1丁目8番地

日本植調協会に期待する

日本植物調節剤研究協会が発足して6回目の新年を迎えたが、発足当初は“供試手順が複雑化し経費が余計にかゝる”とか“既存の協会で充分こなせる筈だ。屋上屋ではないか”等々前途多難を想わせるようないろいろの風評を聞いた。しかし、日本植調協会内外関係者の理解と一途の努力によって、着実に軌道に乗りはじめた感が深い。独自の研究設備も創った。より広い範囲の協力も得て、全国規模の研究普及の方向も打ち出させるようになった。これ等は、並大抵のことではない。

70年代の農業は、従来の官製くさい農業からの脱皮が要請されている。それが、具体的にどんな経過を辿ってどんな姿になるかは、門外漢にはわからない。しかし、その基盤をなす農業技術は、急速に対応する態勢がとられることは疑いない。したがって、日本植調協会の環境はますます多事多難になってゆくであろう。その背景の中で、果すべき役割はどうか。その役割を具体的に且つ分相応に設定して、広く関係官・農業界の理解と協力とを得られるよう慎重に取り運ぶべきであろう。例えば、官民それぞれの試験研究の間に立って、変化する農業技術の消化や積極的な研究刺激について何等かのお手伝いをするということも、当然の役割であろう。多様化する役割を十分に果し、その存在意義を高からしめるためには、当協会の中味をもっと充実せしめる必要がある。それには、何よりも大方の理解を一層深めるよう、日本植調協会はなお一層の努力をして貰いたいと思う。

石原産業株式会社 代 谷 治 郎

目 次

新年のことば

東京大学名誉教授

戸 莉 義 次……………2

年 頭 の 辞

農林省農林水産技術会議事務局

仮 谷 桂……………2

新 年 の 挨拶

農薬工業会会長

西 圭 一……………3

昭和44年度水稻作関係除草剤

試験成績概要

(財)日本植物調節剤研究協会……………4

新登録除草剤一覧

農林省農政局植物防疫課……………19

新除草・調節剤

NH-8902粒剤……………21

NH-6967S除草剤……………22

ACN除草剤……………22

G-315除草剤……………23

新 年 の こ と ば

戸 莉 義 次

昭和30年代の農業は科学の産物を取り入れて発展した。プラスチック・フィルムの利用は園芸生差に革命をきたし、四季を分たぬ新鮮な蔬菜を食膳に乗せ、葡萄の早出し、稲の育苗に利用がひろまる。耕耘機の普及は過剰とみられるほどであり、自脱型コンバイン・バインダーの収穫機、それに至難とみられた田植機さえ実用の域に達する。

真夏の苦行とされた水田除草は、除草剤の開発で今は昔物語りになろうとする。果樹の摘花、果菜の落下防止、たねなし葡萄と、化学生長調節物質の応用にも目を見張る変化がある。さらに抗生物質の進歩は、実用化とともに将来がますます期待される。

かくして、わが国の農業は面目を一新したのであるが、大筋において反収増を主として狙う部分技術の発展とみるべきであろう。1部が極度に発達し、隙のない脊広に草履ばきの畸形児の感が否めない。このような不均衡は、1部において、また1時において利潤を高めても、全

体としての向上はそれほどではない。まして経済の高度生長下にあつて、その波に乗るところか、波にほんろうされる。

40年代も後半に入ろうとする。早くより云われ、実行は伴なわなかった「経営全体としての向上」を目ざして取り組む意気を昂揚しなければならぬ。それは、科学の産物のみの利用でなく、工業発展にみる「運営の仕組み」の導入である。稲をつくり、牛を飼い、トマトを栽培するという目標の下にあつても、自己完結的に自分1人で終始処理するというのではなく、ある部分を分業的に担当し、地域全体として大きな生産流通組織を形成する行き方である。

農業は今まで独立・自由を尊ぶ職業とされたが、それにこだわる限り発展の限界は家内工業にすぎぬ。外国農業の生産性と太刀打ちするには、工業の手法を踏襲して多かれ少なかれ、ある管制の下に1部担任事項に責任を負い、専心して、従来楽しんだ自由の奪われることを覚悟せねばならぬ。

年 頭 の 辞

農林省農林水産技術会議事務局 研究管理官 仮谷 桂

新年おめでとうございます。

旧年は米の生産過剰、農薬残留など農業上数多くの難問をかかえたまま、国会解散、総選挙

と年末ぎりぎりまで忙しい一年でした。そして、問題の多くは解決を今年に持ち越しています。

恐らく、今年も多事の年になるでしょう。

戦争直後、食糧が窮乏した時代に、全国の稲作研究者を集めて行なわれた試験成績検討会の席上、盛永俊太郎博士から、全国平均収量を2石5斗（10アール当り375キログラム）とする事が出来るか、出来るとすれば、どうすればよいかという質問を投げかけられて、誰も返答し得なかった事を昨日のように思い出します。その時から20年余り、ひたすら「日本人に日本の米を」を目標に努力を続け、今日に至り、その目標は一応達成されました。しかし、一面日本農業の零細な特殊性から、生産費は割高になっています。また、農産物全体としての輸入は年々増加しており、私達のしなければならぬ仕事は数多く残っています。これらの問題の

技術的な解決は、単に外国技術の輸入や模倣では果せないことは今までの経験で十分に証明されており、日本の技術は日本人の手によるものではありません。昭和37年の米の豊作は主として育苗法改善による早植栽培技術、昨今の豊作は主として高度な追肥技術によるものと考えられます。この次の技術は恐らく日本的な農業機械と、それを効率的に利用するための物理的、化学的資材によるものと考えられますが、いずれにしろ、これらを核とした新しい高生産性技術の開発にむかって、明らかな態度で、力強く歩み出すべき、充実した一年となるよう、期したいと思います。

新 年 の 挨拶

農業工業会会長 西 圭 一

70年代の年頭に当たり心からお慶び申し上げます。

かえりみますと、70年代は農業にとって試験を重ねた年代であり、特に除草剤は、一部魚に対する毒性に関連して農薬取締法が改正され、指定農薬の使用規制または登録時の魚毒性試験の実施など大幅に規制が強化されましたが、これらに対応して低魚毒性除草剤の研究開発や適正使用がさらに促進され、関係者の一致協力によりこの困難な事態を克服し、農作業の省力化のみならず農業生産性の向上に寄与してきたことは既にご高承のとおりであります。

しかしながら、昨今、まだ農薬をよぎる毒性問題など世上をにぎわしており、まだまだ進む道は険しいものがあります。70年代からは一

層科学的根拠に立脚し、無用な不安の防止やムードによる支配から脱却することに努めるとともに、政府においても助成するため予算化されようとしている農薬残留毒性研究機関の設立に対しては関係団体挙げてこれに協力し、より低毒性農薬の開発実用化を促進し、安全な農薬と安全な農産物の供給を図っていく考えでありますので、日本植物調節剤研究協会をはじめ関係各位のご理解となお一層のご協力を念願し、新年のごあいさつといたします。

昭和44年度水稻作関係除草剤 試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

当協会委託の昭和44年度水稻作用新除草剤の試験成績検討会が、昭和44年12月9日～11日の3日間、東京において開催されたので、ここにその結果の概要について紹介する。

1) 供試除草剤の動向

今年度供試された薬剤は、普通移植栽培本田用117剤、機械移植(稚苗)用10剤、苗代用9剤、湛水直播用4剤、乾田直播用5剤、合計145薬剤であった。

次に、今年度の試験から注目される点をあげてみると、除草剤合成改良面からは混合剤化が目立ち、新規薬剤については半数以上が混合剤であった。この混合剤も従前の土壌処理剤と雑草処理剤との組み合わせから、土壌処理剤間の混合剤化が著しい傾向がみられる。

一方、利用場面、作用特性の面からは、①処理適期幅が広い、②雑草種類間の選択殺草性が小さく、一年生雑草と多年生雑草の同時防除、

③殺草効果の持続性が長い、④他目的農薬の近接散布が可能、などの点に適する除草剤の開発が盛んであることが注目される。

また、植代前土壌混和处理剤が省力化とともに効力の持続性・安定化の点で注目され、有効な除草剤も出現した。

2) 試験結果の概要

今年度試験に供試された除草剤の成分を示すと、表1表の通りである。

それらの中で、除草効果・薬害などの点から有望であることが認められて実用化に移されたものは、普通移植本田用45薬剤、機械移植用(稚苗)7薬剤、苗代用3薬剤、乾田直播用3薬剤の合計58薬剤となっている。

適用性試験の判定結果を表2表に示した。

また、実用化の認められた除草剤の使用基準については表3表に示した通りである。

国産化されるバイエル農薬

いもち病・穂枯れ・紋枯病・小粒菌核病に

ヒノザン

アオムシ・ヨトウムシ・アメリカシロヒトリなどに

ディプテックス

説明書進呈



日本特殊農薬製造株式会社
東京都中央区日本橋室町2の8

世界にのびる

バイエル農薬

＜第1表＞ 昭和44年度水稻作関係供試除草剤成分一覧表

I 移植本田

No.	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 名 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
1	H O K - 7 5 0 1	粒	2-メチル-4-クロルフェノキシチオ酢酸S -エチルエステル 1,4%	北 興 化 学 工 業
2	H O K - 7 5 0 2	粒	PH40-21+HOK-7501 6,3+1,4%	同 上
3	H O K - 7 5 0 3	粒	PCP+HOK-7501 17+0,7%	同 上
4	H O K - 7 5 0 5 A	粒	シメトリン+HOK-7501 2,5+0,7%	同 上
5	H O K - 7 5 0 5 B	粒	同 上 1,5+0,7%	同 上
6	M H - 1 0 0	粒	CNP+HOK-7501 9+0,7%	同 上
7	T S H 5 0 5 ・ P C P	粒	2-メチルフェノキシエタノール+PCP-Na 5+20%	東 洋 曹 達 工 業
8	S - 4 1 5 2	乳	2,4-ジクロルフェノキシアクリル酸エチルエ ステル 20%	住 友 化 学 工 業
9	S-4152・MCP粒A	粒	S-4152+MCP 7+0,8%	同 上
10	同 上 粒 B	粒	同 上 10+0,8%	同 上
11	T H W - 4 5 (ウ ィ ー デ ス ト)	粒	PCP-Na+2,4,5-TPB 19,6+1,45%	ウ ィ ー デ ス ト 普 及 会 (クミアイ・保土谷)
12	M C P - C a	粒	MCP・Ca (原体)	日 本 カ ー バ イ ド 工 業
13	(寒地用, 暖地用) PCP-Ca・MCP-Ca (ベアサイド)	粒	PCP・Ca+MCP・Ca 寒30+0,8% { 暖30+1,0%	ベアサイド普及会 (武田薬品工業, 中外製 薬, 八洲化学工業, 日本カ ーバイド工業(事務局))
14	寒地用 P C P ・ M C P E (パ ー ロ ッ ク K)	粒	PCP+MCPE 20+0,6%	武 田 薬 品 工 業
15	暖地用 P C P ・ M C P E (パ ー ロ ッ ク D)	粒	同 上 17+0,8%	同 上
16	PCP・MCP・DCBN (トリサイド)	粒	PCP-Ca+MCP-Na+DCBN 30+0,75+0,75%	日 本 カ ー バ イ ド 工 業
17	D M P - A	粒	DBN+MCPE+PCP-Na 1,2+0,8+16,4%	兼 商

No	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 名 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
18	S K - 4 3 2	乳	DCPA+CMP 30+7%	{ 三 洋 貿 易 日 本 化 薬
19	SD-11831-H	粒	SD-11831+HOK-7501 2,5+0,7%	{ シエル化学 北 興 化 学
20	M K - 6 8 9 3	水和	酸アמיד系 50%	三 菱 化 成 工 業
21	M K - 6 8 9 3 A	粒	MK-6893+シメトリン+2,4,5 TP 2,5+1,5+1,5%	同 上
22	M K - 6 8 9 3 B	粒	MK-6893+HW-40187+2,4,5,- TP 2+10+1%	同 上
23	M K - 6 8 9 3 C	粒	MK-6893+MCC+2,4,5-TP 2,5+10+1%	同 上
24	M K - 6 8 9 3 D	粒	MK-6893+MCC+2,4,5-TP 5+10+1%	同 上
25	M K - 6 8 9 3 E	粒	MK-6893+ピリダジン+2,4,5-TP 2,5+1,5+1%	同 上
26	H - 4 1 L	乳	α -N-エチル-2-(フェニルオルホニルオ キシ)プロピオンアミド 20%	協 和 酸 酵 工 業
27	トリフルラリン A	粒	トリフルラリン 3,0%	塩 野 義 製 薬
28	S L T - 6 8 1	粒	トリフルラリン+MCPアニリド 1,3+1,3%	石 原 産 業
29	S S H - 2 3	粒	トリフルラリン+MCPエチル 1,4+0,7%	塩 野 義 製 薬
30	G H - 1 1 9	水和	3,5-ジニトロ-N,N-ジプロピルサルファニルアמיד 75%	クミアイ化学工業, 日産化 学工業, イーライリ- LC
31	GH-119・MCP粒A	粒	GH-119+MCPエチル 1,0+0,7%	日産化学工業, イーライリ-
32	GH-119・MCP粒B	粒	GH-119+MCPエチル 1,5+0,7%	同 上
33	MCC・MCP粒20	粒	MCC+MCPエチルエステル 20+0,7%	S W E P 研 究 会 (日産化学工業, 日本農薬)
34	MCC・MCP・BHC	粒	MCC+MCPエチルエステル+BHC 20+0,7+6%	日 産 化 学 工 業
35	MCC・シメトリン	粒	KCC+シメトリン 10+2%	S W E P 研 究 会 (日産化学工業, 日本農薬)
36	MCC・G-315	粒	MCC+G315 10+1,5%	日 産 化 学 工 業
37	TDW・シメトリン	肥料	TDW-39+シメトリン+N+P ₂ O ₃ +K ₂ O 3号2+0,2+16+16+16% 4号2,5+0,25+16+16+16%	クミアイ化学工業 日 本 化 薬 三 菱 化 成 工 業

No.	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 名 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
38	B - 3 0 1 5	乳	S-(4-クロルベンジル)N,N-ジエチル チオールカーバメイト 50%	クミアイ化学工業
39	B - 3 0 1 5	粒	同 上 10%	同 上
40	B - 3 0 1 5 S	粒	B-3015+シメトリン 7+1,5%	同 上
41	B M - 3 0 1 5	粒	B-3015+CNP 7+6%	同 上
42	R - 8 8 2 7	乳	カーバメイト系 30%	同 上
43	B - 5 0 8 5	乳	カーバメイト系 50%	同 上
44	M B - 3 0 1 5	粒	B-3015+ジフェニルエーテル系 7+1%	同 上
45	T - 1 7 3	水和	S-メチル,N-(3-メチルフェニル) チオールカーバメイト 40%	石 原 産 業
46	S L P - 6 8 4	粒	T-173+アリルMCP 18+10%	同 上
47	F - 1 3 4 7	粒	2,5-ジクロルベンジルN,Nジメチルチオール カーバメイト 5%	同 上
48	S L F - 6 9 1	粒	F-1347+アリルMCP 5+0,8%	同 上
49	S L F - 6 9 2	粒	F-1347+MCPCA 5+2%	同 上
50	H W - 8 8	粒	2,5-ジメチルベンジル-N,Nジメチルジチ オカーバメイト 20%	保 土 谷 化 学 工 業
51	C - 1 5 6 8 4	粒	カーバメイト系化合物 10%	チ バ 製 品
52	C-15684・MCP	粒	C-15684+MCP 7,5+2,5%	同 上
53	C - 1 5 7 9 7	乳・粒	カーバメイト系化合物 乳40% 粒10%	同 上
54	C-15797・MCP	粒	C-15797+MCP 7,5+2,5%	同 上
55	C - 1 7 8 7 5	乳・粒	カーバメイト系 乳40% 粒10%	同 上
56	N H - 6 9 6 7 S	粒	2,4-ジクロルフェニルプロリジニルカーボキ シレート+シメトリン 5%+1,5%	日 本 農 薬
57	N H - 6 9 6 7 D	粒	NH-6967+NH-9438 5+1,7%	同 上
58	N T N - 6 2 8 5	粒	カーバメイト系 7%	日本特殊農薬製造
59	T S H - 6 2 8 5 A	粒	カーバメイト系 9%	同 上
60	T S H - 9 6 2	水和	カーバメイト系 40%	東 洋 曹 達 工 業
61	G-315粒(4%)	粒	2-ターシャリブチル-4-(2,4-ジクロル-5- イソプロビル-オキシフェニル)5-オキソ-1,3,4 オキサジアゾリン 4%	日 産 化 学 工 業

No	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 名 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
62	G-315粒(2%)	粒	2-ターシャリブチル-4-(2,4-ジクロル-5- イソプロピル-オキシフェニル)-5-オキソ-1,3,4- オキサジアゾリン	日 産 化 学 工 業
63	G-315	肥料	G-315+N+P ₂ O ₅ +K ₂ O 0.35+12.0+15.0+15.0%	同 上
64	Dowco 221 MCP	粒	α-2,2,2-トリクロルエチルスチレン+MC Pエチル 2,5+0,9%	ダウ・ケミカル
65	NH-9438	粒	- 2,5%	日 本 農 薬
66	NH-9438C	粒	NH-9438+カーバメイト系 1,7%+7,0%	同 上
67	C N P	粒	2,4,6-トリクロルフエニル-4'-ニトロフ エニルエーテル 7%	三 井 東 圧 化 学
68	MO-9	粒	同 上 9%	同 上
69	MO-500	粒	2,4-ジクロル-6-フルオルフエニル-4'- ニトロルフエニルエーテル 1,5%	同 上
70	MO-502 (ノングラス)	粒	MO-500+CNP+MCP酸 1+6+0,75%	同 上
71	C-6989-1	粒	C-6989+C-15684 1,8+7,2%	チ バ 製 品
72	C-6989-2	粒	C-6989+C-15797 1,8+7,2%	同 上
73	C-6989-3	粒	C-6989+MCP 7,5+2,5%	同 上
74	HW-40187MA	粒	3,5-ジメチル-4'-ニトロジフエニルエ テル+MCPE 1,6+0,8%	保 土 谷 化 学 工 業
75	HW-40187C	粒	HW-40187+B-3015 7+7%	保 土 谷 化 学 工 業 クミアイ化学工業
76	NIP-Q改良C	粒	NIP+MCPベンジルトリエタノールアンモ ニウム塩 9+0,5%	東 京 有 機 化 学
77	NH-8902	粒	2-クロル-4-ブロムフエニル-4'-ニト ロフエニルエーテル 7%	日 本 農 薬
78	KH-1908	粒	有機硫黄系 7%	呉 羽 化 学
79	同 上	乳	同 上 25%	同 上
80	MT-101	水和	アニライド系 50%	三 井 東 圧 化 学
81	MT-201	粒	CNP+MT-101 7+4%	同 上
82	MT-202	粒	CNP+MO-500+TO-10+TO-13 7+1+7+1%	同 上
83	CP-44939	粒	アセトトルイダイド系 1,0%	三 菱 モ ン サ ン ト 化 成
84	CP-53619粒2,5	粒	2-クロル-2,6'-ジメチル-N-メトキシ メチル-アセトアニリド 2,5%	同 上

No.	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 名 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
85	CP-53619粒5.0	粒	2-クロル-2,6'-ジメチル-N-メトキシ メチル-アセトアニリド 5.0%	三菱モンサント化成
86	HW-38C	乳	DCPA+B-3015 25+10%	保土谷化学工業
87	HW-38M	乳	アニリド系+他二種混合 31%	同 上
88	HW-T ₁	乳	アニリド系+他二種混合 31%	武田薬品工業 保土谷化学工業
89	NTN-5006	粒	有機リン系 5+7%	日本特殊農薬製造
90	NTN-5006A	粒	NTN-5006+フェノキシ系 5+1%	同 上
91	同 上 B	粒	NTN-5006+カーバメイト系 4+8%	同 上
92	バラコ-ト	液	1,1'-ジメチル-4,4'-ビピリジウムジクロ リド 24%	日 本 農 薬 武田薬品工業
93	クレダジン (SW-6701)	水和	3-(2-メチルフェノキシ)ピリダジン 50%	三 共
94	クレダジン・CNP粒7.7 (SW-6703)	粒	SW-6701+CNP 1.7+6.0%	三共・九州三共
95	クレダジン・シメトリン粒2.8 (SW-6907S)	粒	SW-6701+シメトリン 1.3+1.5%	同 上
96	同 上 3.5 (SW-6808S)	粒	同 上 1.5+2.0%	同 上
97	同 上 4.2 (SW-6809S・B)	粒	同 上 1.7+2.5%	三共・北海三共
98	同 上 4.5 (SW-6809S)	粒	同 上 2.0+2.5%	同 上
99	シメトリン粒1.5	粒	2-メチルチオ-4,6-ビス-エチルアミノ- S-トリアジン 1.5%	ギーボン普及会 (ガイギー他)
100	同 上 2.5	粒	同 上 2.5%	同 上
101	シメトリン・MCPB粒1.5	粒	シメトリン+MCPB 1.5+1.0%	日 本 化 薬
102	同 上 2.5	粒	同 上 2.5+1.0%	同 上
103	PH40-21	粒	4,5,7-トリクロルベンズチアジアゾール- 2,1,3 6.3%	北 興 化 学
104	P H D	粒	PH-40-21+CPH(2-メチル4-クロルフ ェノキシアセトヒドラジッド) 6.3+1.0%	北 興 化 学 工 業 大日本インキ化学工業
105	モリネ-ト M・A	粒	モリネ-ト+MCPエチル 6+0.8%	オルドラム研究会 (東洋棉花, 三笠化学 工業, 八洲化学工業)

No.	除 草 剤 名	剤 名	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
106	モ リ ネ ー ト M・B	粒	モリネート+MCPエチル 8,3+0,8%	オルドラム研究会
107	T S H - 7 3 6	乳	有機塩素系 20%	東 洋 曹 達 工 業
108	T S H - 8 6 2	乳	有機臭素系 20%	同 上
109	T H - 2 9 4 6 M	粒	TH-2946+MCPエチル 4+1%	武 田 薬 品 工 業
110	モ グ ト ン (ヒ ル ム シ ロ)	粒	2-アミノ-3-クロル-1',4'-ナフトキノ ン 9%	兼 商
111	M K - 6 8 0 1	水和	有機酸系 50%	三 菱 化 成 工 業
112	N P - 1 2	粒	- 15%	日 本 曹 達
113	N P - 1 3	粒	ジフェニルエーテル系 7%	同 上
114	N P - 1 6	粒	NP-13+MCPエチル 7+0,7%	同 上
115	N P - 1 5	粒	- 15%	同 上
116	Y K - 4 8 7 6	乳	- 20%	科 研 化 学 八 洲 化 学 工 業
117	H O K - 5 2 6	水和	- 40%	北 興 化 学 工 業

Ⅱ 機 械 移 植 - 稚 苗 -

No.	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
1	P C P - 2 5	粒	PCP 25%	P C P 協 議 会
2	モ リ ネ ー ト	粒	S-エチル・ヘキサハイドロ-1H-アジピン-1- カーボチオエート 5%	オルドラム研究会 (東洋棉花,三笠化学 工業,八洲化学工業)
3	M O - 9	粒	2,4,6-トリクロルフェニル-4'-ニトロフェニル エーテル 9%	三 井 東 圧 化 学
4	C - 6 9 8 9 (プ レ ホ ラ ン)	粒	2,4-ジニトロ-4'-トリフルロメチル-ジ フェニルエーテル 7%	チ バ 製 品
5	H E - 3 1 4 (T O P E)	乳	3-メチルフェニル4'-ニトロフェニルエー テル 25%	三 洋 貿 易
6	トリフルラリン A	粒	トリフルラリン 3,0%	塩 野 義 製 薬
7	MCC・MCP粒 20	粒	MCC+MCPエチル 20,0+0,7%	S W E P 研 究 会 (日産化学工業・ 日本農薬)
8	B - 3 0 1 5 S	粒	B-3015+シメトリン 7+1,5%	クミアイ化学工業
9	B M - 3 0 1 5	粒	B-3015+CNP 7+6%	同 上
10	H W - 8 8	粒	2,5-ジメチルベンジル-N,Nジメチルジチ オカーバメイト 20%	保 土 谷 化 学 工 業

Ⅲ 苗 代

	No.	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 名 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
(イ) 水 苗 代	1	モ リ ネ ー ト	粒	S-エチル・ヘキサヒドロ-1H-アジビ ン-1-カーボチオエート 5%	オールドラム研究会 (東洋棉花, 三笠化学 工業, 八洲化学工業)
	2	H E - 3 1 4 (T O P E)	乳	3-メチルフェニル 4'-ニトロフェニルエ ーテル 25%	三 洋 貿 易
	3	B - 3 0 1 5	乳	S-(4-クロロベンジル)N,N-ジエチ ルチオールカーバメイト 50%	クミアイ化学工業
(ロ) 保 苗 代	1	モ リ ネ ー ト	粒	モリネート 5%	オールドラム研究会 (東洋棉花, 三笠化学 工業, 八洲化学工業)
	2	B - 3 0 1 5	乳	R-3015 50%	クミアイ化学工業
(ハ) 水 苗 代	1	モ リ ネ ー ト	粒	モリネート 5%	オールドラム研究会 (東洋棉花, 三笠化学 工業, 八洲化学工業)
	2	モ リ ネ ー ト	乳	同 上 40%	同 上
	3	B - 3 0 1 5	乳	B-3015 50%	クミアイ化学工業
	4	改 良 D C P A	乳	DCPA 10%	北 興 化 学 工 業

Ⅲ 湛 水 直 播

No.	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 名 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
1	モ リ ネ ー ト	粒	モリネート 40%	オールドラム研究会 (東洋棉花, 三笠化学 工業, 八洲化学工業)
2	H W - 3 8 5 5	水 和	DCPA+DCTT 25+25%	保土谷化学工業
3	H W - 4 0 1 8 7 D	乳	DCPA+HW-40187+MCPE 25+10+12%	同 上
4	S - 4 5 8 6 5	乳	2,4-ジクロルフェノキシアクリル酸シクロヘ キシルエステル 20%	住友化学工業

V 乾 田 直 播

No.	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 名 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
1	S A P ・ プロメトリン (エ ス)	乳	SAP+プロメトリン 50+5%	日 本 農 薬 東 洋 棉 花
2	M O - 5 0 0	乳	2,4-ジクロル-6-フルオルフェニル-4' -ニトロフェニルエーテル 25%	三井東洋化学
3	トリフルラリン	乳	トリフルラリン 44,5%	塩 野 義 製 薬
4	トリフルラリン B	粒	トリフルラリン 2,5%	同 上
5	H - 3 3 7	水 和	PCP+リニュロン 73,0+5,0%	丸 和 物 産

<第2表> 昭和44年度水稻作関係除草剤実用化判定表

	実 用 化	実 と 継	継 続	継 ？	中 止
	寒地用PCP-Ca・ MCP-Ca粒	HOK-7501粒	S-4152・MCP粒B	TSH505・PCP粒	C-15684・MCP粒
	暖地用PCP-Ca・ MCP-Ca粒	HOK-7502粒	SD-11831-H粒	MK-6893D粒	
	寒地用PCP・ MCPE粒	HOK-7503粒	MK-6893A粒	C-15797・MCP粒	
	暖地用PCP・ MCPE粒	HOK-7505A粒	MK-6893B粒	C-6989-1粒	
	PCP・MCP・ DCBN粒	HOK-7505B粒	MK-6893C粒	C-6989-3粒	
(1)		MH-100粒	MK-6893E粒	PH40-21粒	
	SK-432 乳 (畦 畔 用)	S-4152・MCP粒A	GH-119・MCP粒A	NP-12粒	
	トリフルラリンA 粒	THW-45粒	GH-119・MCP粒B	NP-15粒	
普	SLT-681粒	DMP-A 粒	MCC・シメトリン粒		
通	SSH-23粒	B-3015粒	MCC・G-315粒		
移	MCC・MCP粒20	B-3015S粒	TDW・シメトリン肥料 3号・4号		
	MCC・MCP・BHC粒	BM-3015粒			
	C N P 粒	NH-6967S粒	SLP-684粒		
植	MO-9粒	G-315粒(4%)	F-1347粒		
	MO-502粒	G-315肥料	SLF-691粒		
栽	NIP-Q改良C粒	HW-40187M・A粒	SLF-692粒		
培	クレダジン・ CNP粒7.7 (SW-6708)	HW-40187C粒	G-315粒(2%)		
		NH-8902粒	Dowco 221・MCP粒		
・	シメトリン粒 1,5	パラコート液	NH-9438粒		
本	シメトリン粒 2,5	クレダジン・ シメトリン粒2,8	C-6989-2粒		
		(SW-6907S)	CP-53619粒2,5		
田		クレダジン・ シメトリン粒3,5	CP-53619粒5,0		
		(SW-6808S)	TH-2946M粒		
		クレダジン・ シメトリン粒4,2	NP-13粒		
		(SW-6809S・B)	NP-16粒		
		クレダジン・ シメトリン粒4,5			
		(SW-6809S)			

	実 用 化	実 と 継	継 続	継 ？	中 止
普通移植・本田つづき		シメトリン・ MCPB粒1,5 シメトリン・ MCPB粒2,5 P H D 粒 モ ゲ ト ン 粒			
(2) 機械移植 ↓ 稚苗 ↓		モ リ ネ ー ト 粒 M O - 9 粒 C - 6 9 8 9 粒 H E - 3 1 4 乳 MCC・MCP粒20 B - 3 0 1 5 S 粒 B M - 3 0 1 5 粒	トリフルラリンA粒	P C P - 2 5 粒 H W - 8 8 粒	
(3) イ本 魚代		H E - 3 1 4 乳	モ リ ネ ー ト 粒 B - 3 0 1 5 乳		
ロ裏 保温折 苗代		モ リ ネ ー ト 粒 (表 層 処 理)	B - 3 0 1 5 乳		モ リ ネ ー ト 粒 (混 和 処 理)
ハ 畑 苗 代		B - 3 0 1 5 乳	モ リ ネ ー ト 粒 モ リ ネ ー ト 乳 改 良 D C P A 乳		
(4) 湛直 水播			モ リ ネ ー ト 粒 S - 4 5 8 6 5 乳		
(5) 乾直 田播	SAP・プロメトリン乳 H - 3 3 7 水和	M O - 5 0 0 乳	トリフルラリン乳 トリフルラリンB粒		

(その他作用特性の解明)

S-4152乳, MCP-Ca, MK-6893水和, H-41L乳, GH-119水和, B-3015乳, R-88
27乳, B-5085乳, MB-3015粒, T-173水和, HW-88粒, C-15797乳・粒, C-17875乳・
粒, NH-6967D粒, NTN-6285粒, NTN-6285A粒, TSH-962水和, NH-9438C粒,
MO-500粒, KH-1908粒・乳, MT-101水和, MT-201粒, MT-202粒, CP-44939粒,
HW-38C乳, HW-38M乳, HW-T1乳, NTN-5006粒, NTN-5006A粒, NTN-5006B粒,
クレダジン水和, モリネートM・(A)B粒, TSH-736粒, TSH862乳, MK-6801水和, YK-4876乳,
HOK-526水和, HW-3855水和, HW-40187D乳, C-15684粒

昭和44年度水稻実用化除草剤使用基準一覧表

	除草剤名	処理法	処理時期	使用量 (製品g/a)	適用土壌 (減水深)	適用地帯	使用上の注意
普通 移植 栽培 本田	実地用PCP・Ca +MCP・Ca粒	土壌処理	移植後10～ 20日 (雑草発生始 期)	300	・壤土～埴土 (2cm/日以下) ・砂壤土 (1cm/日以下)	寒地	PAMに準ずる
	暖地用PCP・Ca +MCP・Ca粒	同上	移植後4～7 日(水稻活着 後)	300	壤土～埴土 (2cm/日以下)	北海道を除く 全域	同上
			第1回中耕後	300	砂壤土 (1cm/日以下)	全域	
	寒地用PCP・ MCPE粒	同上	第1回中耕後 又はそれに準 ずる時期	300～400	壤土～埴土 (2cm/日以下)	寒地・寒冷地の PAM地帯	同上
	暖地用PCP・ MCPE粒	同上	移植後4～6 日	300～400	同上	温暖地・暖地の 普通期	同上
	PCP・MCP・ DCBN粒	同上	移植後5～ 8日 第1回中耕 後	300	・沖積壤土～埴 土 (0.5cm/日 以下) ・腐植質火山灰 土 (4cm/日以下)	全域	PPに準ずる
	SK-432乳	雑草茎葉 処理 (畦畔)	雑草30cm前 後	200～250	全域	全域	稲体にかからぬよ うに散布する
	トリフルリン A粒	土壌処理	移植後4～7日	300～400	砂壤土～埴土 [減水深が特 に多くない 土壌]	普通期全域 [カヤツリグサ・ マツバイ多発 地帯は除く]	
	SLT-681粒	同上	①中耕後ない しはそれに 準ずる時期 (寒地・寒 冷地) ②移植後4～ 8日(温暖 地・暖地)	300～400	壤土～埴土 (2cm/日以下)	全域 (早期・普通期)	
	SSH-23粒	同上	移植後4～ 8日 中耕後	300～400	壤土～埴土 (3cm/日以下)	寒冷地の平坦部 および温暖地・ 暖地 (普通期・早期)	
	MCC・MCP粒 20	茎葉兼土 壌処理	移植後7～15 日 (ヒエ2～3 葉まで)	300	砂壤土～埴土 (2cm/日以下)	全域	・殺虫剤との混用は DCPAに準ずる ・高温時の散布につ いては注意する
	MCC・MCP・ BHC粒	同上	同上	300	同上	MCC・MCP 剤の使用時期とB HC散布が合致 する地域	同上

	除草剤名	処理法	使用時期	使用量 (製品g/a)	適用土壌 (減水深)	適用地帯	使用上の注意
(普通移植栽培本田一つつき)	C N P 粒	土壌処理	移植前3日～ 後6日	300～400	砂壤土～埴土 〔漏水の著しく 大きい水田は除く〕	全 域	
	M O - 9 粒	同 上	同 上	300～400	壤土～埴土 〔漏水の著しく 大きい水田は除く〕	全 域	
	M O - 5 0 2 粒	同 上	移植後5～ 10日 中耕後	300～400	同 上	普通期全域	ノビエ2葉期以前に 処理する
	N I P - Q 改良 C 粒	同 上	移植後7～10 日	400	壤土～埴土 (1cm/日以下)	寒 地	・処理後の深水や落 水をさける ・低温時の使用はさ ける
	クレダジン・ C N P 7.7 粒	同 上	移植後4～ 8日	300	壤土～埴土 (1.5cm/日以下)	普通期・早期栽 培地帯	
	シメリトン1.5 粒	茎葉兼土 壌処理	移植後5～ 10日 (ノビエ2葉 まで)	300～400	砂壤土～埴土 〔極端な漏水 田を除く〕	温暖地南部(東 海)以西平坦地 の普通期地帯	・小苗・徒長苗の場 合は処理時の深水 はさける ・マツバイ多発田の 使用さける
	シメリトン2.5 粒	同 上	移植後7～ 15日	300～400	同 上	全 域	同 上
	H O K - 7 5 0 1 粒	茎葉処理	分けつ中後期 ～幼穂形成期 前	300～400	砂壤土～埴土 〔漏水の大き くないとこ ろ〕	寒地を除く普通 期栽培地帯	M C P に準ずる
	H O K - 7 5 0 2 粒	土壌処理	移植後7～ 10日 (ノビエ2葉 まで)	300～400	・沖積壤土～ 埴土 (0.5cm/日 以下) ・洪積火山灰土 (4cm/日 以下)	寒地・寒冷地北 部を除く普通期 栽培地帯	・低温時および異常 高温時の使用はさ ける ・その他P P に準ず る
	H O K - 7 5 0 3 粒	同 上	移植後4～ 8日 寒冷地一第 1回中耕後	300～400	・沖積壤土～ 埴土 (2cm/日 以下) ・洪積火山灰土 (4cm/日 以下)	寒地除く普通期 栽培地帯	
	H O K - 7 5 0 5 A 粒	茎葉兼土 壌 処 理	移植後10 ～15日 (ノビエ1 ～2葉) 中耕後 (東北北部)	300～400	壤土～埴土 (2cm/日以下)	寒地・暖地を除 く普通期栽培地 帯	
	H O K - 7 5 0 5 B 粒	同 上	移植後10～ 15日 (ノビエ1～ 2葉)	300	同 上	暖地普通期栽培	・異常高温時の散布 には注意を要する ・健苗使用

	除草剤名	処理法	使用時期	使用量 (製品g/a)	適用土壌 (減水深)	適用地帯	使用上の注意
(普通移植栽培本田一つづき)	MH-100粒	土壌処理	移植後4～8日 (ノビエ1葉まで)	300	・沖積壤土～ 植土 (2cm/日以下) ・洪積火山灰土 (4～5cm/日以下)	温暖地～暖地の 普通期	CNP・MCPに準 ずる
	S-4152・ MCP粒A	同上	移植後5～10日 (ノビエ1～2葉)	300	壤土～植土 (2cm/日以下)	・寒冷地南部 (北陸)以西	
	THW-45粒	同上	第1回中耕後	300～400	同上	寒冷地	PAMに準ずる
	DMP-A粒	同上	移植後5～10日 第1回中耕後	300	壤土～植土 (0.5cm/日以下)	寒地	DMPに準ずる
	B-3015粒	茎葉兼土 壌処理	移植後4～10日 (ノビエ1.5葉まで)	300～400	砂壤土～植土 〔極端な漏水 田は除く〕	普通期全域	
	B-3015S粒	同上	移植後7～15日 (ノビエ2.5葉まで)	300～400	壤土～植土 〔極端な漏水 田は除く〕	普通期、早期 全 域	・異常高温が予想さ れる条件下では使用 をさける ・健苗使用
	BM-3015粒	同上	移植後4～10日 (ノビエ1.5葉まで)	300～400	砂壤土～植土 〔極端な漏水 田を除く〕	寒地除く 普通期、早期栽 培地帯	深水散布をさける
	NH-6967 S粒	同上	移植後5～10日	300	壤土～植土 (1cm/日以下)	寒地除く全域	処理後の高温に注意 する
	G-315粒	同上	移植後8～10日 (ノビエ1.5葉まで)	300	壤土～植土 〔極端な漏水 田はさける〕	普通期全域	・散布後深水になら ぬように注意する ・異常高温時はさけ る
	G-315肥料	土壌混和 処理	植代時 (移植前2～3日)	300	砂壤土～植土	普通期全域	・移植後の深水をさ ける ・混和深2～3cm
	HW-40187 MA粒	土壌処理	移植後4～10日 (ノビエ2.0葉まで)	300～400	壤土～植土 (3cm/日以下)	寒地除く 普通期全域	CNP・MCPに準 ずる
	HW-40187 C粒	茎葉兼土 壌処理	移植後6～12日 (ノビエ1～2葉)	300～400	壤土～植土 〔極端な漏水 田はさける〕	寒地除く全域	処理後の深水や落水 をさける
	NH-8902 粒	土壌処理	移植後4～8日 (ノビエ1葉まで)	300	砂壤土～植土 (2cm/日以下)	暖地の普通期栽 培地帯	・処理後の深水や落 水をさける ・その他NIPに準 ずる
	パラコート液	茎葉処理 (ミズガヤ ツ対象)	耕起前	30～40	全土壌	田植前にミズガヤ ツリが発生前にな る一毛作田	・発生揃後散布 ・散布後5～6日経過 して耕起・代かきを する

	除 草 剤 名	処 理 法	使 用 時 期	使 用 量 (製品g/a)	適 用 土 壌 (減水深)	適 用 地 帯	使用上の注意
(普通移植栽培本田一つつぎ)	クレダジン・シメトリン2.8粒	茎葉兼土壌処理	移植後5～10日	300	壤土～埴土(1.5cm/日以下)	普通期栽培地帯	・減水深の大きいところでは使用しない ・健苗使用
	クレダジン・シメトリン3.5粒	同 上	同 上	300	同 上	寒冷地南部(北陸)と温暖地以西の普通期栽培地帯	・暖地では早い時期に処理する ・健苗使用
	クレダジン・シメトリン4.2粒	同 上	寒冷地—移植後10～15日 寒 地—移植後5～10日	300	同 上	寒地・寒冷地	健苗使用
	クレダジン・シメトリン4.5粒	同 上	移植後10～15日 寒地—移植後5～10日	300	同 上	寒地・寒冷地	健苗使用
	シメトリン・MCPB粒	同 上	移植後5～13日(ノビエ2葉まで)	300	壤土～埴土(2cm/日以下)	温暖地・暖地の普通期栽培地帯	・小苗・軟弱苗の場合は処理時の深水をさける ・著しい高温時は使用しない
	シメトリン・MCPB 2.5粒	同 上	移植後7～15日	300～400 移植後10日までは300 同10日以降は400	同 上	寒冷地・温暖地	同 上
	P H D 粒	土壌処理	移植後4～10日	300	・沖積壤土～埴土(0.5cm/日以下) ・腐植質洪積火山灰土(4cm/日以下)	・寒冷地・温暖地の普通期栽培 ・暖地の早期栽培地帯	PPに準ずる
機械移植栽培(稚苗)	モグトン粒	茎葉処理(ヒルムシロ対象)	ヒルムシロ発生始～増殖始	300～400	壤土～埴土(0.5cm/日以下)	寒冷地の湿田	・再生した場合は反復散布する ・魚毒に注意
	モリノート粒	土壌処理	移植後～ノビエ2.0葉まで	500～600	砂壤土～埴土	寒冷地北部(東北)	ノビエ・マツバイ対象に初期除草剤として使用する
	MO-9粒	同 上	移植前3日～移植後5日 移植当日の移植前後処理を含む	300	同 上	寒地除く全域	深水での使用はさける
	C-6989粒	同 上	移植後2～4日(ノビエ発生始期まで)	300～400	同 上	・寒冷地および温暖地北部	・コナギ多発地はさける ・深水をさける

	除草剤名	処理法	使用時期	使用量 (製品g/a)	適用土壌 (減水深)	適用地帯	使用上の注意
(機械移植栽培(稚苗)——つづき——)	HE-314乳	湛水滴下処理	田植同時～ ノビエ2葉	30～50	同上	寒地除く全域	湛水は適度に保持すること(3cm)
	MCC・MCP 20粒 (体系)	茎葉兼土 壌処理	①CNP又は NIP 移植前3日 ～後5日 ②MCC・ MCP 移植後25 ～30日	300	壤土～埴土 (3cm/日以下)	寒地、暖地(九州)を除く全域	・体系で使用する ・水稲6葉(ただし ノビエ2葉時)で 安全である
	B-3015S粒	同上	移植後8～ 15日 (ノビエ2.5 葉まで)	300	壤土～埴土 漏水の特に 大きくない 土壌	全 域	・水稲活着後使用する ・異常高温時の使用 はさける
	BM-3015粒	土壌処理	移植後4～ 10日 (ノビエ1.5 葉まで)	300～400	同上	寒地を除く全域	深水はさける
苗代—— 本苗代——	HE-314乳	茎葉兼土 壌処理	播種後～ノビエ 1～2葉期	40～50	壤土～埴土	寒地を除く全域	漏水の大きいところはさける
——保 温折衷—— 苗代——	モリノート粒	土壌処理	播種覆土後	300	沖積埴土～ 埴土	寒冷地・温暖地	イネ科雑草対象
—— 畑苗代——	B-3015乳	土壌処理	播種覆土後	60～80	砂壤土～埴土	寒地を除く全域	適湿を保持する
乾田直播栽培	SAP・ プロメトリン乳	土壌処理	播種直後～ 水稲出芽前	60～80	壤土～埴土	温暖地・暖地	・覆土深2～3cmとし、 深浅にすぎないこと ・イネ科雑草の多発 地では80g使用する
	H-337水和	土壌処理	同上	75～100	同上	全 域	・降雨の多いときは さける
	MO-500乳	土壌処理	播種直後	260～300	砂壤土～埴土	温暖地	広葉およびなでしこ 科雑草の多い地帯は さける

新 登 録 除 草 剤 一 覧

農 林 省 農 政 局 植 物 防 疫 課

(昭 和 4 4 年 8 月 1 日 ～ 昭 和 4 4 年 1 2 月 3 1 日)

分 類	種 類 名	商 品 名	有効成分の種類および含有量	剤 型	使用対象	登 録 会 社
ホルモン 型除草剤	2 4 P A	ローンキー プ	2,4-ジクロロフェノキシ酢酸 ナトリウム水化物 2%	エアゾル	芝(高麗芝)	保土谷化学工業
		ウシコ 2 4 P A	2,4-ジクロロフェノキシ酢酸 トリエタノールアミン 1.3%	エアゾル	芝(高麗芝)	宇都宮化成工業
		三井東圧2,4-D アミン塩	2,4-ジクロロフェノキシ酢酸 ジメチルアミン 49.5%	液 剤	水 稲	三井東圧化学
		三井東圧2,4-D ソーダ塩	2,4-ジクロロフェノキシ酢酸 ナトリウム水化物 95%	水 溶 剤	水 稲	三井東圧化学
	M C P	三井東圧MCP ソーダ塩	2-メチル-4-クロロフェノ キシ酢酸ナトリウム 19.5%	液 剤	水 稲	三井東圧化学
		日産粉状MCP 水溶剤	2-メチル-4-クロロフェノ キシ酢酸ナトリウム水化物 70%	水 溶 剤	水 稲	日産化学工業
		日産粉状MCP 水溶剤	同 上	同 上	同 上	北海道日産化学
		日産粉状MCP 水溶剤	同 上	同 上	同 上	東京日産化学
		石原粉状MCP 水溶剤	同 上	同 上	同 上	石原産業
非ホルモン 型除草剤	D C M U	トモノDCMU 水和剤	3-(3,4-ジクロロフェニル) -1,1-ジメチル尿素 40%	水 和 剤	畑作, 桑, 茶, 果樹	トモノ農薬
	シメトリン	ホクコーギーボン 粒剤 1.5	2-メチルチオ-4,6-ビス- エチルアミノ-S-トリアジン 1.5%	粒 剤	水 稲	北興化学工業
		三共ギーボン 粒剤 1.5	同 上	同 上	同 上	三 共
		三共ギーボン 粒剤 1.5	同 上	同 上	同 上	北 海 三 共
		三共ギーボン 粒剤 1.5	同 上	同 上	同 上	九 州 三 共
		日農ギーボン 粒剤 1.5	同 上	同 上	同 上	日 本 農 業
		ホクコーギーボン 粒剤 2.5	2-メチルチオ-4,6-ビス- エチルアミノ-S-トリアジン 2.5%	同 上	同 上	北興化学工業
		三共ギーボン 粒剤 2.5	同 上	同 上	同 上	三 共

分 類	種 類 名	商 品 名	有効成分の種類および含有量	剤 型	使用対象	登 録 会 社
(非ホル モン型除 草剤)	シメトリン	三共ギーボン 粒剤2.5	2-メチルチオ-4,6-ビス- エチルアミノ-S-トリアジン 2.5%	粒 剤	水 稲	北 海 三 共
		三共ギーボン 粒剤2.5	同 上	同 上	同 上	九 州 三 共
		日農ギーボン 粒剤2.5	同 上	同 上	同 上	日 本 農 薬
	M C C	日産粒状スエップ	メチル-N-(3,4-ジクロロ フェニル)カーバメート 1.5%	粒 剤	陸 稲	日産化学工業
		日産粒状スエップ	同 上	同 上	同 上	北海道日産化学
		日産粒状スエップ	同 上	同 上	同 上	東京日産化学
		日産粒状スエップ	同 上	同 上	同 上	関西日産化学
		日産粒状スエップ	同 上	同 上	同 上	日 本 農 薬
	バーナレート	ヤシマバーナム 粒剤5	S-プロピル-N・N- ジプロピルチオカーバメート 5%	粒 剤	らっかせい	八洲化学工業
		サンケイバーナム 粒剤5	同 上	同 上	同 上	サンケイ化学
		中外バーナム 粒剤5	同 上	同 上	同 上	中 外 製 薬
		トモノバーナム 粒剤5	同 上	同 上	同 上	トモノ農薬
		{D I C} バーナム粒剤5	同 上	同 上	同 上	大日本インキ 化学工業
	ペブレート	ヤシマチラム乳剤	S-プロピル-N-エチル -N-ブチルチオカーバメート 7.5%	乳 剤	ト マ ト	八洲化学工業
		サンケイチラム乳剤	同 上	同 上	同 上	サンケイ化学
		{D I C} チラム乳剤	同 上	同 上	同 上	大日本インキ 化学工業
		トモノチラム乳剤	同 上	同 上	同 上	トモノ農薬
		中外チラム乳剤	同 上	同 上	同 上	中 外 製 薬
	ベスロジン	バナフィン 粒剤2.5	N-ブチル-N-エチル- α, α, α - トリフルオール-2,6-ジニトロ- パラトルイジン 2.5%	粒 剤	芝(和芝)	塩野義製薬
	シデュロン	デュボンデュバサン	1-(2-メチルシクロヘキシル)- 3-フェニル尿素 5.0%	水 和 剤	芝(高麗芝, ベントグラス), 葉たばこ	デュボン・ ファーイースト
	塩素酸塩	クロレート S	塩素酸ナトリウム 5.0% (重炭酸ナトリウムおよび炭酸) ナトリウム 2.0%	粉 剤	造林地, 開 こん予定地 ごしらえ 下刈り	昭 和 電 工
混合除草 剤	PCP・MCP	{D I C} MP粒剤	ペンタクロロフェノールナトリ ウム-水化物 2.0% 2-メチル-4-クロロフェノ キシ酢酸ヒドラジド 1.2%	粒 剤	水 稲	大日本インキ 化学工業

新除草・調節剤

NH-8902粒剤

(取扱メーカー) 日本農薬株式会社

対象作物：移植水稻

性状・作用特性：本剤は、ジフェニルエーテル系除草剤2-700・4-グロモフェニル-4-ニトロフェニルエーテル7.0%を含む粒剤である。

本剤は非ホルモン型の接触剤で、雑草発生前および発生盛期に処理すると効果のある土壤兼雑草処理剤である。NIPと同一の特性を有し、発芽時におけるイネーヒエ間の選択性がやゝ大きいという特徴がある。

使用方法：今回実用化が認められたのは、移植水稻（暖地普通）の活着后（田植后4～8日）に10アール当たり製品3～4kg処理する。適用土壤は、壤土～植土である。

分類	種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	使用対象	登録会社
混合除草剤	PCP・MCP・DCBN	ホクコトリサイド粒剤	ペンタクロルフェノール カルシウム複塩(二水化物) 3.0% 2-メチル-4-クロルフェノ キシ酢酸ナトリウム水化物 0.8% 2,6-ジクロルチオベンザミド 0.75%	粒剤	水稻	北興化学工業
	PCP・リニュロン	「中外」トリサイド粒剤	同上	同上	同上	中外製薬
		ハタロン粒剤	ペンタクロルフェノール ナトリウム水化物 1.5% 3-(3,4-ジクロルフェニル) -1-メトキシ-1-メチル 尿素 1%	粒剤	陸稲 らっかせい	三笠産業
	ベンチオカーブ・シメトリン	サターンS粒剤	S-(4-クロルベンジル) -N・N-ジエチルチオカーバメート 7% 2-メチルチオ-4,6-ビスエチル アミノ-S-トリアジン 1.5%	粒剤	水稻	クミアイ化学工業
	MBPMC・MCP	(DIC)AZAKエザック	4-メチル-2,6-ジターシヤリ -ブチルフェニル-N-メチルカ -バメート 4.0% 2-メチル-4-クロルフェ ノキシ酢酸ヒドラジド 3.0%	水和剤	芝(和芝)	大日本インキ 化学工業
	トリフルラリン・MCP	トレモリン粒剤	a, a, a-トリフルオール-2,6 -ジニトロ-N・N-2-メチル -4-フルルフェノキシ酢酸エチル 0.7%	粒剤	水稻	塩野義製薬

新除草・調節剤

ロロップS 粒剤

NH-6967S除草剤

(取扱メーカー) 日本農薬株式会社

対象作物：移植水稻

性状・作用特性：本剤は日本農薬(株)で研究開発されたカーバメイト系除草剤2,4-ジクロルフェニルピロリジニルカーボキシレート(NH-6967)5%とトリアジン系除草剤シメトリン1.5%を含む混合粒剤である。

NH-6967の作用特性は、殺草草種の幅が広く、特にノビエ、カヤツリに効果の高い根部及び茎葉吸収移行型の雑草兼土壌処理剤である。本剤はこれにシメトリンを配合することにより、マツバイ及び水田一年生雑草を対象とした処理適期幅の広い生育中期処理剤である。また、有機リン系およびカーバメイト系農薬との近接散布による薬害の心配はない。

使用方法：移植水稻の苗が十分に活着した後、ノビエの2.0葉期までに10アール当たり製品3kgを均一散布する。適用土壌は減水深1cm/日以下の壤土～埴土である。

深水では、効果がふれることがあるので注意を要する。

モグトン粒剤

ACN除草剤

(取扱メーカー) 兼商株式会社

対象作物：移植水稻

性状・作用特性：本剤は2-アミノ-3-クロルー-1,4ナフトキノン9%を主成分とする粒

剤である。

本剤は、雑草発生始期～盛期処理で接触的殺草作用を速効的に発揮する除草剤である。特にヒルムシロ、ウキクサ類、藻類の防除には卓効を示す。但しヒルムシロでは、再生のみられることもある。

温度による効果の変動は少なく、低温下でも安全・有効に使用できる。人畜毒性は低く、ラット経口急性毒性 $LD_{50}=3690\text{ mg/Kg}$ 、魚毒性はコイ48時間後 TLM が0.7PPmである。

使用方法：ヒルムシロ対象には、発生始から増殖始期、ウキクサ類には、ある程度繁茂してから、10アール当たり製品3～4kgを処理する。湛水状態で使用し、散布後は約二週間落水しないようにする。適用土壌は減水深0.5cm/日以下の壤土～埴土で、寒冷地の湿田を適用地帯とする。

使用上の注意：冠水状態では水稻に対する薬害が生ずるので、浅水で使用のこと。本剤の使用場面は魚介類に危害を与えやすいので河川、養魚池などに飛散流入しないように充分留意すること。

オルドラム粒剤

モリネット除草剤

(取扱メーカー) 八洲化学工業株式会社

三笠化学工業株式会社

東洋棉花株式会社

対象作物：稚苗機械移植、保温折衷苗代

性状・作用特性：本剤はS-42の試験名で試験が実施されてきた除草剤で、S-エチル・ヘキサヒドロ-1H-アジピノー-1-カーボチ

新除草・調節剤

オエート5%を含む粒剤である。

本剤は米国ストッファー・ケミカル社で開発され、ノビエ・水稻間の選択性の非常に大きな土壌処理型除草剤である。又、リン系及びカーバメイト系殺虫剤との同時或いは近接散布でも薬害は認められない。

毒性は、急性経口毒性 $LD_{50} = 795 \text{ mg/Kg}$ (マウス)、魚毒性は TLM 48時間後 30ppm (コイ) で、実用上問題がない。

使用方法：稚苗機械移植：移植前3日～移植後5日に10アール当たり製品5～6Kgを均一散布する。尚体系の前処理剤として使用する。

保温折衷苗代では、播種覆土後10アール当たり製品3Kg～4Kgを均一散布する。尚イネ科優占圃場を主な対象とする。

壤の種類や温度の変化に対しても安定した効果が得られている。

人畜毒性は、マウスで $LD_{50} = 4,600 \text{ mg/Kg}$ であり、魚毒性はコイで48時間 TLM = 176ppmである。

使用方法：G-315粒剤は、普通期栽培のノビエ1.5葉期まで(移植後8～10日)、10a当たり製品量3Kgを均一に散布する。G-315肥料は、植代前に10アール当たり製品量で30Kgを均平後、均一に散布する。

使用上の注意：発生後のコナギに対しては効果が劣り、マツパイを除く多年生雑草には効果がない。深水処理では、茎葉に褐変が発生するから、著るしい深水をさけること。また、漏水田では使用しないこと。

G-315除草剤

(取扱メーカー) 日産化学工業株式会社
対象作物：移植水稻

性状・作用特性：本剤は、2-ターシャリブチル-4-(2,4-ジクロル-5-イソプロピルオキシフェニル)-5-オキソ-1,3,4-オキサジアゾリンを主成分とする除草剤で、有効成分はつぎのとおりである。

G-315肥料(A)：G-315を0.35%、窒素12%、磷酸15%、加里15%、

G-315粒剤：G-315を4%、

本剤は、根部および茎葉から吸収移行して効果を発揮する非ホルモン型除草剤であり、根部吸収選択性により、土壌混和処理の効果が大きく、移植後の土壌兼雑草処理効果も大である。土壌中の残効性は極長で、移行性も小さく、土

独自商品を農家のために!!

安心して使える兼商の水田農薬……………

● マツバイ・ヒエに
抜群の除草効果



● ヒルムシロ・アオミドロ・ウキクサ
の卓効除草剤



※ 苗代・本田・れんこんに薬害がありません。



兼商株式会社

東京都千代田区丸の内 2-4-1
電話 (03) 216・5041



編集後記

松、竹、梅、……1970年代は、各植物にとっても新たな意味を持つ年になるかもしれない。近頃の植物調節剤の開発には、めまぐるしいほどの動きがあり、供試薬剤の傾向も、真新しいものが目立つようになってきた。1970年代の後半には、これらの薬剤の影響で、農業生産は、工業生産と同じような生産構造に変化してゆくかも知れない。農業生産の工業生産化に対し、植物調節剤の果たす役割は大きく、却光を浴びている現在、これら薬剤の実用化のため、各種試験に取り組む、各試験場や研究機関で活躍される諸氏には、なみなみならぬ苦労があるものと思う。

さて、本号は昭和44年度水稻作関係供試除草剤の試験成績の概要を紹介したが、編集の関

係上、至らぬ点があると思うが、ご容赦願いたい。なお、新登録除草剤は、最近4カ月間のもので取り扱ったが、新年度号よりは、新登録された生育調節剤も掲載することにしたい。

終わりに、編集の都合により、本号の発行が大変おくれたことをおわびします。

財団法人 日本植物調節剤研究協会

東京都港区芝西久保桜川町26番地

電話 東京(03)502-4188～9番

昭和45年1月発行

植調第3巻第10号 ¥70(送料35)

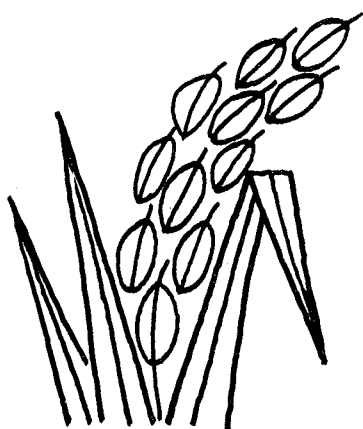
編集人 日本植物調節剤研究協会会長 河田 党
発行人 植調編集印刷事務所 田口 宏

東京都豊島区池袋本町4丁目49番3号

発行所 植調編集印刷事務所

電話 (986) 1068番

省力化の新しい担い手



● 水田初期雑草防除に ゼロワンP粒剤

——(フェノチオール・PCP除草剤)

● 水田後期雑草防除に 水中ゼロワン

——(フェノチオール除草剤)



創立20周年

種子から収穫まで護るホクコー農薬

北興化学工業株式会社

東京都中央区日本橋本石町4の2 ☎103

支店／札幌・東京・新潟
名古屋・大阪・福岡

水田の多年生雑草防除は

Ⓢの除草剤で

シヨウメート

粉 剤

シヨウメート

水溶剤

クロレートソーダ

+2.4-PA

マツバイ・ミズガヤツリを根絶させるために稲刈取あとに散布して、増収と省力に役立ててください。

☆説明書進呈☆

製 造

昭和電工株式会社

東京都港区芝宮本町34番地 電話(432) 5111(大代表)

販 売

丸善薬品産業株式会社

大阪市東区道修町2丁目21 電話(202) 0921(代表)

東京都千代田区内神田3丁目16 電話(256) 5561~6

福岡市中呉服町5番17号 電話(28) 6631(代表)

名古屋市西区塩町4丁目25 電話(561) 0131(代表)

札幌市北二条西2丁目(花菱ビル) 電話(24) 7291

仙台市国分町15(平山ビル) 電話(25) 0822



苗代予定地 本田耕起前の除草に 武田グラモキソン®

- あらゆる雑草に有効で、特にイネ科雑草に高い効果があります。
- グラモキソンは土壤に触れると直ちに吸着、不活性化されるため、処理後すぐに作物を播種したり植付けたりすることができます。
- 苗代の整地、本田耕起作業が楽になります。
- 田植前にマツバイ・ミズガヤツリが生え揃ったとき散布すれば、その後の発生を抑えることができます。



武田薬品工業株式会社 農業事業部
東京都中央区日本橋江戸橋2の7 電話(03)273-3311

使って安全・すぐれた効きめ

安心して使える新しい水田除草剤



●マツバイに卓効

クサトリ 粒剤4.5

1. 水田のヒエ、その他広範囲のいね科・広葉雑草にすぐれた効きめがあります。
2. 特にマツバイにすぐれた殺草効果があります。
3. 残効性が長く、長期間雑草の発生を抑制します。
4. 人畜・魚毒性が低く、安心して使用できます。
5. クサトリは有機りん剤又は、カーバメート系殺虫剤と近接散布しても薬害の心配はまったくありません。

三共株式会社

農業営業部 東京都中央区銀座3-10-17
支店営業所 仙台・名古屋・大阪・広島・高松



北海三共株式会社
九州三共株式会社